

ノリキの本・・・島津法樹（著）

ある本屋で 「骨董ハンター 南方見聞録」を立ち読みした。

その場で半分読んだ。

面白かった。骨董の本なんて買うのをためらった。

その時はいつものクセで金儲けに関する HOW to 本だけ買ったと思う。

しかし、どうしてもまた読みたいので、図書館で読みたい本購入依頼申請をしといた。

そして、運良くこの本を図書館が買ってくれていた。

再度読めることになった。

数年後、AMAZON で 6000 円とプレミアムが付いていた。

すげー「やっぱり値打ちありだね骨董本が骨董みたいにプレミアム本になった」

（僕の目利きもバッチリだわぁ）

ちょうど、アジア方面に旅行するようになったので  
マッチするところがあった。

さらに彼の本が数冊発売された。

買って読んだ。

2008年9月22日

暇つぶしに また読んだ。 うる覚えだった箇所（ここの分が最高に面白かったよな）  
と折り目をつけた。

（まだ、2回しか読んでないのか）

ある教授が「同じ本 20回は読みなさい」と言った。

1回目読んだ自分と

20回目読んだ自分を比較しなさい。

1回目の「おもしろかった」が

20回目で「一回目の面白かったと何がちがうのだろうか？」比較してみなさい。

金儲けの本を2~5回ぐらい読むことがある。

そこまでは、よくある。

20回読むにはちょっと意識を変える必要がある回数だ。

どの本なら読めるか「そして考える・・・ノリキの本なら楽しくてワクワクさせられるからできそう。そして興味のあるキーワードをマインドマップ化してみよう。」

想像のワークフローを完成させる

**数冊のノリキ本を元にキーワード抜き出して自分の興味を再確認してみる**

今回は骨董という本なのだが

タイトルには書いてないが「銭儲けの仕込み」についてすべて書いてあると思った。

これが2回目の気づきだ。

「人生一度きり」「儲けネタのためなら危険を恐れない」「ノリキは海外仕入れに年間12回以上はアジアへ飛び立つ？」

彼（島津法樹・・・ノリキ）の本を好きで数冊持っているわけだからもっと深く読めるかも

手持ちでどの本なら20回読めるか「考えた」。

これらの本はタイトルこそ骨董と書いているが

（作者はこの本に「生き方の醍醐味」を書いている気がする）

商品の知識を元に世界でお宝を探している。

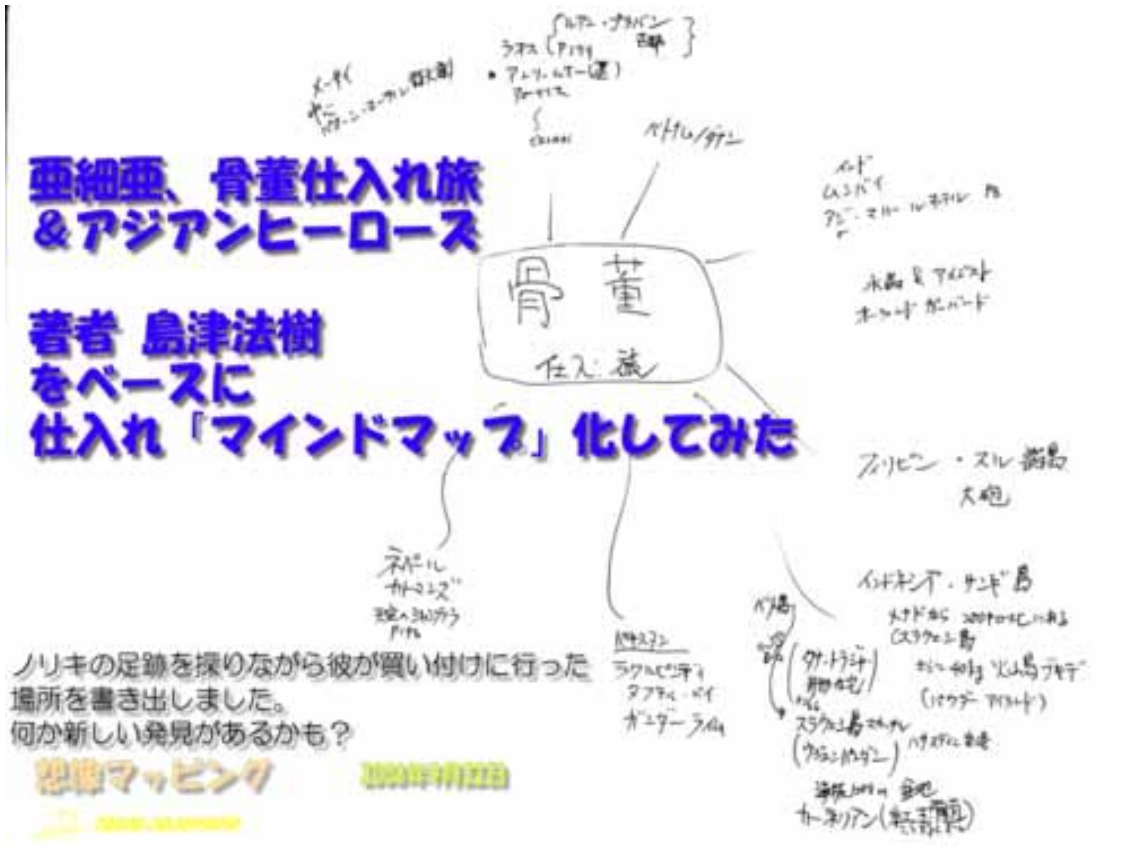
骨董ディーラーとの駆け引きもすべて書いてある。

これらをすべて学んでモノにできないだろうか？

<http://www5c.biglobe.ne.jp/~yurinkan/>

<http://www5c.biglobe.ne.jp/~yurinkan/kotto1.html>

<http://www5c.biglobe.ne.jp/~yurinkan/asianherosindex.html>



仕入れマインドマップは行ってみたい海外旅行先になりそう  
 実は骨董をひとつも持っていない。  
 儲けネタの趣味で宝石を作ったことが数度ある。  
 (好きと言うより金儲け的な発想。値段があってないようなモノがビックリ値段に変身するところが好きだ。 『骨董ハンター南方見聞録』が講談社+α 文庫より 『魔境アジアお宝探索記』と改題されて発売。

ある教授はどんな本を指して 20 回は読みなさいと言ったのだろうか